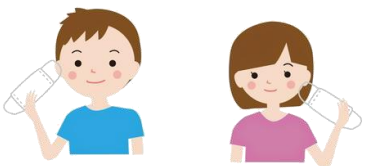
津市立八ッ山小学校だより

この学校にわたしたち

2022. 06. 14　NO15

子どもの行動には意味がある

私は教師になって７年目。３校目の学校で２年生を担任した時、その時出会った子どもから学んだことがきっかけで教育相談を学びはじめ、他市町や他県の子どもや保護者と面談するなどボランティアをしてきました。自分の専門性を生かしたい…その思いで活動をしていた時、上の子が４歳でものを食べようとしても喉を通らないという症状を発症しました。友人の小児科に相談したところ、「小児拒食症かもしれない」と言われました。それを克服後、６年後、今度は下の子が小学校４年生から不登校状態となり、家から一歩もでなくなりました。「なぜ？どうして？」と自問する毎日が何年も続き、仕事から帰ると妻の不安を聞く家庭内カウンセリングを行うという生活でした。下の子は中学校を１日も休まず登校し、希望の高校にも入学することができました。私は「子どもの行動には意味がある」とかねてより心に刻んでいます。２人の子どもの経験は渦中にいる時は本当に苦しく、辛い日々でした。しかし、「冬は必ず春となる」「冬きたりなば春遠からじ」「闇深ければ暁近し」などの言葉を通り、いつまでもこんな状況は続くわけはないと前に進んできました。２人の子のおかげで私はさらに以前よりも深く不登校に悩む保護者の方の思いに共感することができるようになりました。わが子は「私を本当の教師にするために生まれてきた」のだと思うようになりました。ちなみに下の子は高校に入学して昨年秋より、第２期不登校状態となっています。まだまだ、私に教えてくれることがあるようですが、わが子が安心した表情で家で過ごしている姿を見て、それが何より嬉しく、そして今の状況は子どもにとっても私にとっても大切な期間なのだと思っています。小学校の子どもや保護者の方に対しても私は同じような思いで、１つ１つ子どもの行動を意味あるものとして見守っています。些細なことでもご心配なことがありましたら、担任をはじめ学校にご相談ください。



☆☆熱中症予防とマスクの着用☆☆

ゴールデンウイーク後、爆発的な感染拡大を懸念されていたものの予想程は大拡大はしていません。しかしながら、毎日の三重県内の新規感染者数は４００人前後で推移、津市内における小中学生の新規感染者数も１０名前後報告されており、決して終息したわけではありません。こういった状況にある中、気温が高くなってきて熱中症予防のため、登校時及び体育時のマスクは不要であるとの通知が県→市を通じてきました。保護者の皆様には６月１日付にて文書を配布させていただきましたので宜しくお願いします。